

平成29年度 北摂第一幼稚園

平成29年度重点目標 「保育課程・指導」「安全管理」「特別支援」「職員管理」

※評価結果の表示方法

A：十分達成されている

B：達成されている

C：取り組まれているが、成果が十分でない

D：取り組みが不十分である

1、「教育課程・指導」

	A	B	C	D
① 建学の精神や教育目標に基づいた幼稚園の運営がなされている。	6	9	0	0
② 幼稚園の状況をふまえた保育目標の設定がなされている。	6	9	0	0
③ 子どもの4年間の育ちを見通した保育過程が本園の教育理念に基づき、教育要領をふまえて、教員とともに作成されている。	4	8	2	1
④ 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達をふまえて、その内容や実施方法を工夫している。	6	8	1	0
⑤ 年間指導計画や週案などが教育要領、保育課程、子どもの実態を基に作成されている。	3	10	2	0
⑥ 幼少連携においてそれぞれの内容を理解しあえるように関心を持ち、その手だてとなる機会を積極的にもつ。	1	13	1	0
⑦ 教職員全員で一人ひとりの子どもを育てるという視点に立って、教職員間の共通理解や協力体制ができている。	8	5	2	0
⑧ 個々の教員が自分の課題を把握し、その課題を達成できるように体制をとっている。	2	11	2	0
⑨ 園内研修などを企画し、研修の内容を本園の教育理念に沿った形で日々の保育に活かせるようにしている。	1	4	6	4
⑩ 定期的に公開保育を行い、互いを参観し、よりよい保育について研鑽している。	2	3	4	6
⑪ 環境を通して行う幼稚園教育の特質を理解し、発達の道筋を見通し、適正な環境に努めている。	4	8	3	0
⑫ 子どもの主体性と教師の意図のバランスを考慮しながら、子どもが主体的に活動できる環境を構成している。	6	8	1	0
⑬ 子どものかかわりの中で信頼関係を築いている。	10	5	0	0
⑭ 子ども一人ひとりの発達の特性に応じた指導を行っている。	6	9	0	0
⑮ 保護者に対し、子どもや保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くように努めている。	8	7	0	0

2、「安全管理」

	A	B	C	D
① 室内や園庭の安全に対して、定期的に点検、改善を行っている。	7	4	4	0
② 遊具、設備備品、保育室内、園庭など戸外、建物などに関する安全点検を定期的に行っている。	5	5	5	0
③ 火元責任者など安全管理担当者を決め、職務を遂行している。	5	6	4	0
④ 事故や怪我の報告、情報交換が密になされ、それを元に再発防止に努めている。	6	6	3	0
⑤ 登降園を含め、緊急事態に対して、迅速・適切に対応できるようにしている。	5	8	2	0
⑥ 不審者などに対する訓練を行い、有事の際は警察ホットラインなどを通じて通報できる体制をとっている。	2	9	3	1
⑦ 緊急事態の場合、職員間で連絡連携が取れる体制になっている。	3	9	2	1
⑧ 非常ブザーや呼び子の笛、さすまた等があり、すぐに使えるようにしている。	4	9	2	0
⑨ 消火器の位置を把握し、使い方を理解している。	6	9	0	0
⑩ 火災、地震、不審者などの避難訓練を定期的に行っている。	4	9	2	0
⑪ 緊急時を想定した避難訓練内容になっている。	3	10	2	0
⑫ 薬を飲用する場合は、処方通りの投薬ができています。	9	6	0	0
⑬ 救急用品の整備をし、置き場所にも安全がなされている。	9	6	0	0
⑭ アレルギー疾患の子どもの把握と安全配慮に努めている。	12	3	0	0
⑮ 園庭は常に整備され、室内は衛生的で整理整頓が行き届いている。	5	8	2	0
⑯ 遊具や玩具が安全に使いやすく考えて配置され整理整頓がなされている。	3	10	2	0
⑰ 破損したのものなどの処理、補充補修ができています。	3	7	3	2
⑱ 食の安全管理に十分留意している。	9	4	2	0
⑲ 調理委託業者との連携を密にしている。	10	5	0	0
⑳ 調理室を衛生的に管理している。	12	3	0	0
㉑ 給食時の衛生管理が徹底できています。	9	6	1	0
㉒ 伝染病の知識をもち、集団生活での予防対策が実践できています。	6	7	2	0

○保育課程について

- ・環境を通しての教育には、概ね達成できたが、いつものことながら園内保育を公開し、お互いに高め合う研修会を持つことができなかった。園外での研修は率先してできたように思う。
- ・保護者との信頼関係もより深くとまではいなくても、より綿密に連絡を取り合い、スムーズな関係ができたと思う。
- ・持病をもっている園児がいて、緊急に対応しなければならない園児がいたが、母親との連携もしっかり取れ、大きな事故には至らなかったのが幸いであった。
- ・クラス便りに関しては毎月細やかに出せているクラスと、少し遠のくクラスと偏りができたため、来年度への課題となった。

各学年の目標達成に向けて取り組んだが、全て満足いくものではなかったため、このことも踏まえて来年度への引き継ぎをしっかりとやりたい。

○安全管理について

- ・遊具の点検を定期的実施しなければならないが、各学年に応じてできていないところとできているところがあり、声のかけ合いが必要であると感じた。

○特別支援について

- ・特別支援については、詳細にわたり連携ができたことは子どもたちへの育成にもつなげられたと思う。成長した子どもの姿を伺うことができた。

○安全管理について

- ・全体的には園の教育方針など、具体的に入園説明会からその都度話を出してきたが、隅々までは浸通していなかったかも知れない部分が見られ、反省させられた。30年度はよりよい方向性を見出したい。